

第5回 八王子市特別職報酬等審議会

平成27年8月28日（金）午後2時

第五委員会室

出席者 石井昭久委員、岡本孝之委員、伊羅胡和哉委員、田中康之委員
原 幸子委員、川原恵里委員、桐越麻美委員、千葉 茂委員
総務部長、職員課長、職員課主査、職員課主事

会議内容

1 開 会

2 議 事

（1）前回の議事録の確認

（2）資料説明

事務局より次の資料が提示され、資料の要点について説明があった。

- ① 第四回八王子市特別職報酬等審議会議事録（案）
- ② 中核市移行に伴う権限委譲等について
- ③ 教育長の職務及び報酬について
- ④ 平成27年人事院勧告「給与勧告の骨子」

3 質疑及び意見

〔事務局〕資料について説明

【会長】ただいまの説明に対してご質問はありますか。

（質問なし）

【会長】国の人事院勧告では0.36%の増額という勧告が出ましたが、最近の世界同時株安など、この先の日本経済については見通しが立たない状況になっていると思います。

前回の審議会では、議員の報酬については増額改定してもよいのではないかという方向性で概ね意見はまとまったと思います。ただし、中核市や人口50万人以上の自治体との比較においてのみ増額するのではなく、中核市に移行して担うべき役割が増えたなどの説明が必要という意見がありました。

また、教育長については、本年4月1日から特別職となり、本審議会の審議対象となったことから、給料の額について見直した方がいいという意見が出ました。この点について、他市との比較で金額が高かったり、市の他の特別職との比較においても少し水準が高いという資料が示されています。

人事院勧告を始めとする経済環境、議員報酬、教育長の給料、このあたりを中心にご意見を頂ければと思います。

【委員】都から移行された仕事が増えるわけで、議員以外の一般職員の人数もある程度増やさざるを得ないと思いますが、予算の問題で、都からの業務の移譲に対して、見合うだけの予算が配分されているのかどうかという点がポイントになるかと思います。

【事務局】予算については、配分されています。市に必要なコストは国の交付税で賄われています。職員の数ですが、中核市になり業務が増えましたが、業務委託やサービスの見直しを行い、職員全体の数は増えていません。

【委員】権限が増える中で、細かい予算配分はどうなっていますか。

【事務局】八王子市が独自でサービスを手厚く行うもののうち、独自部分の予算については、本市で担うことになります。

【委員】中核市移行による権限の移譲については、市民にもわかりやすい説明が必要だと思います。

【委員】資料②の中で業務移譲により、議員の責任などが増えているとあり、29の条例の整備をしたり、施策が条例という見える形になったことで、責任を負うというのがわかりやすくなっているのが良いと思います。議会基本条例の制定というのがあり、議会の責任を果たすというアピールになるかと思いますが、わかりやすい形で示していただきたいです。議会で決めることも増えており、各議員の責任も増えているのが見えてくると、報酬を上げるということを言えるのではないのでしょうか。

【委員】業務が増えれば、給料が増えるというのは一般企業でもよくある話ですので、増額もありかなと思います。

【委員】今までより市の職員の仕事は増えているわけですが、民間に委託したりもしているのですか。

【事務局】業務の効率化を図るなかで民間に委託もしております。

【委員】職員の仕事が増えるのはわかりますが、これによって議員の仕事も増えているのでしょうか。

【事務局】議会がチェック機能を果たしている部分もあり、市民の方の意見を反映させる立場にありますので、権限の移譲により仕事の範囲も増えます。

【委員】業務が増えていることで議論をする機会も増えるなどの話がありましたが、具体的にはどれくらい増えているのでしょうか。

【事務局】条例が増えて、審議の時間、数も増えています。

【委員】仕事量が増えたのならいいと思いますが、具体的な説明も必要だと思います。

【委員】私は息子がいるので、将来目指したいと思えるかどうかという点で給料と仕事量、充実度などの兼ね合いもあると思うので他の市と比べて、劣っているよりは、見合ったものにするために増額はやむを得ないと思います。

【会長】教育長については、他市に比べて高い状況になっていますが、教育というものはこれからも非常に大事でありまして、生涯学習という観点や健康増進などのスポーツの分野でも、高齢者などの生涯教育、またこれからを担う子どもたちをどう育てていくのか、

大きな役割を担っています。

【委員】教育長は、現行では報酬額は高いですが、これからどのような立場で働いてもらうかという点を加味していく必要があるかと思います。その意味では教育委員会制度改革により、市長が新たに総合教育会議を招集したり、教育大綱の策定等を行うことになったということは、市長との役割分担により教育長の責任や負担が減ったとも言えるのではないかと思います。一方で、教育長は制度改革により教育委員会を代表する立場になりましたが、制度改革前から実質的に教育委員会を代表していたとのことなので、やはりその辺りは見ていかなければならないのかなと思います。

【委員】八王子の教育長や常勤監査委員などが他市に比べてどういう仕事をしているのか、その中で業務が多く責任が重いのであれば、増額も納得できますが、業務や責任が変わらないのに給料が高いのであれば、そこは見ていかなければいけないと思います。

【会長】今回の審議会はこれで終了します。お忙しいところありがとうございました。

次回 平成27年11月25日（水）午後7時～